

町政を問う

一般質問とは

議員が町政全般にわたり、執行機関（町長・教育長など）に疑問点について、所見を伺うことです。



辻 紀樹 議員

今後の農業政策について 4



高森 功治 議員

令和6年度の予算編成の方針は 6

― 辻 紀樹 議員 ―

今後の農業政策について

（町長） 長万部農業振興協議会を新しく設立

辻 本町の農業は主に酪農・畜産・畑作の3経営体で構成され、総生産額は年々減少傾向にあり、要因として社会的要因・従事者の高齢化・後継問題などによる農家戸数の減少が起因となっている。さらに、ウクライナ戦争や円安により、飼料価格の高騰など社会的要因により農業を取り巻く環境は、より一層厳しさを増している。特に、畜産については飼料価格の高騰により、事業費の50%から60%を占めている。町は今後、酪農についてどのような展望を考えているのか、また、従事者労働負担の軽減対策として、

町営牧場の育成牛受託事業の充実が重要と考えるが、町長の所見を伺う。

町長 本町において「農業」は、極めて重要な産業であるとの認識には変わりない。行政としては、「草づくり」「牛づくり」に対する支援を継続していく考えである。

高騰を続ける輸入飼料の使用量を少しでも減らすためには、自給飼料の安定確保が重要であり、草づくりへの支援としては、道営草地整備事業を活用していく。令和6年度から4年間、計9戸の酪農・肉牛農家が事業参加を予定している。

また、牛づくりへの支

援としては町営牧場の継続である。現在、町内酪農家の牧場利用率は7割を超え、本年も300頭以上の育成牛を預かっており、酪農家の労働力軽減にも役立っている。

辻 従事者の福利厚生

の充実が求められ、法人化に向けての環境整備が必要と思うが。

町長 新規就労関係の募集に行っても、生活の安定、雇用の安定も見込め、将来的にも不安を感じないという事で法人経営の牧場に就職の希望が増えている。農協とともに、今後連携しながら進めていきたい。

辻 自給飼料の安定確

保のために道営草地の事業を引き続きやるのとこのだが、静狩峠を降りると、新幹線の用地、ルートが見える。共立・栄原の草地は、どちらかといえば優良農地が多いと実感できる。結構そういう面積がなくなっているの

で、新たに優良な草地を求める必要が出てくるのではないかと思う。

今後、道営草地ばかりでなくて、国営なりいろんな補助対象を駆使しながら、推進するということについてはどうか。

町長 来年からまた新たに道営草地事業が始まって、新しく草の種を植えて、栄養価の高い草が取れるようになる。農地の集合化も含めてということになる、今年「長万部農業振興協議会」という組織が新しくできた。これからの長万部の酪農業をどうしていくか、将来的な農地編成

を含めて考えていきたい。

辻 農業振興協議会の設立、この会はどのような組織になるのか。

農業政策室長 9月に酪農生産部会、和牛改良組合、畑作振興会、酪農ヘルパー利用組合、乳牛検定組合、畜産クラスター協議会、この6団体の正副の代表者に集まっていた、計3回ほど協議を持って、今の置かれている環境や今後の課題等についていろんな意見をいた、だいている。今後は幅広く、町全体の農業をどうしていくか、実際農業者が参画しながら、その中には農業改良普及センター、農協、役場、農業共済組合、獣医さんと一緒にいる形で組織をした。

辻 協議期間を定めて進めているのか。

農業政策室長 会議の中で十分議論をして、少なくとも令和6年度には

課題を絞り込んで、しっかりした協議を行うという事で、今年の会議は終了している。

辻 令和3年6月定例議会一般質問で、公共牧場の通年預託について検討するとの答弁だったが、従事される方が高齢になっていく。後任の育成が必要だと思うが、どのように考えているか。

町長 町営牧場の管理は農協に年間委託をして、従業員は委託先から派遣されている。高齢化は我々も心配だが、技術、視点を持った管理人がいらないということも、農協も悩んでいるのではないかと。あくまでも委託は農協だということで理解いただきたい。通年預託の関係、当時質問いただいたあとに検討したことについて、室長から答弁させる。

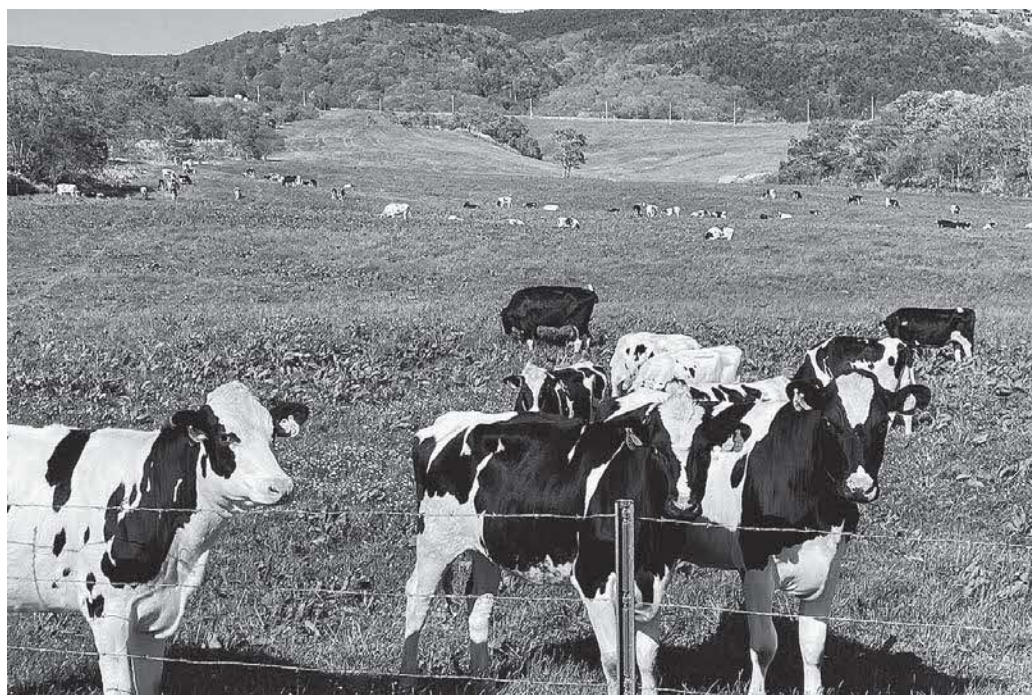
農業政策室長 通年預託の施設ということにな

ると、大きな牛舎が最低限必要になる。300頭規模で試算では、牛舎の建設コストで3年前の数字で3億6000万、さらに機械等で約5000万。牛舎だけで4億1000万はかかると思う。さらに通年預託を運営していくランニングコストとして、施設の減価償却費や機械のリース料、人件費、冬期間牛に与えるエサ、諸々入れ毎年度、6500万という試算をしている。預けてくれた農家の利用料を1頭当たり1日1000円以上いたただかないと、永続的に施設を活用していけないという試算をしている。

辻 将来的に牧場が1か所となる可能性もあるということが示されている。長万部の場合は他町村の牛も受託されていると思うが早めに他町村との協議が必要になってくるのではないか。

町長 再三議論して、今蔵岱と共立牧場、2牧場で運営させていた、だいており、牧場をひとつにする決断は難しい。どうしてかと言ったらやはり使わないとその牧場は雑草だけで終わってしまい、もう二度と改良できないという流れになる。だから牧場として使用できるうちは、やはり2牧場を大切にして使って初めて牧場の価値が出る。ここは大切にしなければいけないと思っている。ただ地元の酪農家が例えば頭数が減ったとか、戸数がどんどん減って、利用者が減ってきた場合には1牧場にする英断を何年かかけてしなければいけないだろうと思っている。今決めて来年からという話にはならない。今洞爺湖町とかそちらのほうからも来ている。2牧場である以上は預託を受けて、少しでも経営の内

容が良くなればいいと思う。1牧場に決めるということについては、1年では事足りる話ではない、2年3年継続した中で最終決断をしないといけない。そういう時期はいずれ来るような可能性もあるが、今は2牧場体制でしっかりやっていくことである。



町営牧場（共立）

— 高森 功治 議員 —

令和6年度の予算編成の方針は

(町長) 新規事業を抑制し、財政調整基金を積み上げる

高森 エネルギーや食品等の価格の深刻な物価高騰の長期化により、町民や町内業者に大きな影響が及ぼされている。その様な中、新年度予算に物価高騰対策として、どのような施策を盛り込むのか。また、財政調整基金残高と地方債残高の推移を示した上で、今後の見通しを伺う。

町長 令和6年度の予算編成については、国の「経済財政運営と改革の基本方針2023」や骨太方針に基づき、予算要求にあたっては、職員一人ひとりの知恵と能力を最大限に発揮して、最小の経費で最大の効果をあげるよう努めるとともに、この厳しい行財政事情を認識し、歳入の確保、歳出の削減に取り組んでいるところだ。

てないが、補正予算も含めて検討している。

財政調整基金と地方債の残高については、令和以降、財政調整基金は10億円前後で推移している。4年度末で約8億5300万円、地方債は、役場庁舎など過去の大型事業の償還終了により約48億円前後で推移しており、4年度末で48億3000万円である。今後、北海道新幹線建設などに伴う大型事業の実施を控えていることから、令和6年度当初予算については、財政調整基金残高の増額と地方債残高の縮減を図るために、新規事業の抑制に努め、継続事業を中心とした予算を編成していく。

高森 令和5年度においても、補正予算で物価高騰対策として施策を盛り込む可能性があるのかお聞きする。

町長 次回の議会に向

けて、物価高騰対策の政策を打とうと思っている。

高森 財政調整基金について伺うが、4年度末で8億5300万円だがこれは3年度から見てどれだけ減少したか伺う。

総務課長 財政調整基金の3年度末残高は10億3036万2000円で、4年度末が8億5359万2000円であり、差し引きすると1億7677万円の減少である。

高森 3年度から4年度で、約1億7600万減少したが、その理由は、

総務課長 財政調整基金への積み立ての原資となる一般財源が、歳入において特別交付税で6500万円増加となったが、臨時財政対策債で約8300万円の減額となった。歳出では、水柱対策で約5000万円。天然ガス事業所設備改修工事で、これは起債を充当したが、残りの一般財源分で約3

600万円。そのほか長万部墓地園路外改修工事で約2900万円。福祉センターの屋根・壁改修工事で約1300万円など、単独事業費によるものが要因となっている。

高森 財政調整基金は健全な財政を運営していく上で、地方公共団体の貯金と言われるものだが、先日の第9号補正予算の説明では、残高が約4億円とのことであった。これは6年度の当初予算の編成にあたり、問題はなのか。

町長 財政調整基金は年度当初で10億はひとつの基本になる。先ほど答弁したように、令和6年度は新規事業の抑制しながら財政調整基金の積み上げをしていかなければ、次年度の予算に大きな影響が出てくる。また今後新幹線関連工事などで、負担金も増えてくるので、令和6年度は、継続の事

業は継続しながらも、財政調整基金に積み増しができるだけの余裕を事業計画の中で立てていきたい。

高森 地方債の残高が4年度末で48億3000万円とのことだが、長万部の財政規模で、この金額というのはどのように判断しているのか。

総務課長 地方債の償還額は経常的な経費であることから、経常収支比率、これは自治体の財政構造の弾力性を示す指標で、町税等の毎年経常的な収支に対する人件費や公債費等の毎年の経常的な支出の割合で、4年度では3年度から3.6ポイント増加して、長万部町は89.0という状況ではあるが、全道平均は91.0となっている。

高森 全道平均から見ても長万部町はそんなに悪くないという判断か。

町長 総務課長から説

明があったとおりだ。

高森 令和6年度は木幡町政3期目の折り返しの年となるが、町長の公約に関する施策として、令和6年度予算に計上するものがあるか。

町長 公約というのは



役場庁舎

町民との約束だ。約束を守るが一番大事なことで、毎年度毎年度予算の中に反映をさせてきている。なので約束は守られる。自分でも町民との約束を破っていないということは自負できる。

● 令和5年中の議会運営状況 ●

● 定例会

区分	会 期		会議 日数	町長・議員提出議案					請願 陳情	意見書 決 議	合計	一般質問	
	日 程	日数		条例	予算	決算	人事	その他				人数	件数
第1回	3月9日～17日	9日	3日	5件	18件	—	2件	2件	—	—	27件	2人	4件
第2回	6月8日～13日	6日	2日	2件	4件	—	11件	1件	—	1件	19件	1人	1件
第3回	9月7日～15日	9日	3日	1件	6件	8件	1件	8件	—	2件	26件	3人	4件
第4回	12月12日～15日	4日	2日	13件	6件	—	1件	2件	—	—	22件	2人	2件

● 臨時会

区分	会 期		会議 日数	町長・議員提出議案					請願 陳情	意見書 決 議	合計
	日 程	日数		条例	予算	決算	人事	その他			
第1回	2月9日	1日	1日	1件	2件	—	—	—	—	—	3件
第2回	5月12日	1日	1日	2件	6件	—	6件	2件	—	—	16件
第3回	6月30日	1日	1日	—	2件	—	—	3件	—	—	5件
第4回	11月24日	1日	1日	—	2件	—	—	2件	—	—	4件